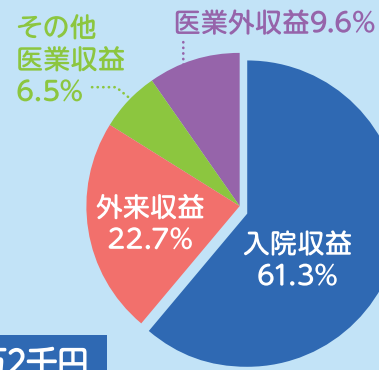


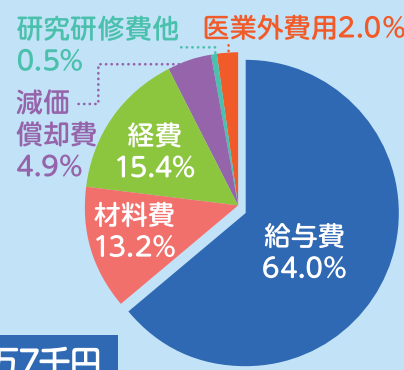
令和2年度 予算及び事業の概況

病院事業 収益予算



33億8,769万2千円

病院事業 費用予算



33億8,583万7千円

令和2年度予算の報告

業務の予定量		入 院	外 来
延べ患者数	人	52,428	64,231
1日平均患者数	人	143	239
診療単価	円	39,581	11,825
病床利用率	%	65.3	—

令和2年度予算は、収益では昨年度実績に基づく入院・外来収益を見込むとともに、費用については、医師・看護師の確保に必要な給与費を計上する一方で、材料費、経費については、昨年度から引き続き節減に取組み、事業収益で33億8,769万2千円、事業費用で33億8,583万7千円、当年度純利益を185万5千円と見込んでおります。

一方、診療施設等の整備として、4階病棟トイレ改修工事等を計画しており、電子カルテシステムの更新をはじめとする所要の医療機器等の更新・整備を予定しているところです。

外来診療案内

※赤字は女性医師です。 令和2年4月現在

診療科		月	火	水	木	金	土
内 科	一診	吉 川	竹 田	吉 川	竹 田	吉 川	担当医
	二診	竹 田	松 田	尾 山	高 井	松 田	—
	三診	久 保	榎 木	森 本	石 田	尾 山	—
	四診	森 本	堂 原 (肝臓外来)	野 木 (循環器)	—	榎 木	—
	五診	石 原 (循環器)	—	—	—	—	—
	午後	—	—	榎 木 (禁煙外来)	—	—	—
外 科	一診	山 田	—	山 田	—	第1・第3田村 (心臓血管外科)	吉 川
	二診	明 石	杉 森	担当医	明 石	杉 森	担当医
整 形 外 科	一診	佐 本	森 田	佐 本	片 山	吉 良	担当医
	二診	吉 良	担当医	森 田	—	米 田	—
小 児 科	一診	阪 井	中 農	飯 田	高 川	橋 本	担当医
	二診	飯 田	高 川	橋 本	中 農	阪 井	担当医
	午後	—	予約外来 (慢性疾患) 予防接種	予約外来 (慢性疾患) 予防接種 アレルギー外来	予約外来 (慢性疾患) アレルギー外来	予約外来 (慢性疾患) 乳児検診	—
泌 尿 器 科		望 月	望 月	望 月	望 月	中 井	望 月
皮 膚 科		—	小 川	濱 田	西 村	—	—
緩和ケア科(ホスピス外来)(完全予約制)		中 村	—	中 村	—	中 村	—
緩和ケア外来(完全予約制)		山 田	杉 森	—	—	—	山 田
心療内科(精神腫瘍科)(完全予約制)		—	—	—	四 宮	—	—

診療受付時間 初診は午前8:30から午前11:00まで
再診は午前8:00から午前11:00まで
※泌尿器科診療開始時間は9:30からとなります。

休診日 第2・4土曜日・日曜日・祝祭日
12月29日～1月3日 年末年始休暇

※受付時間以外の時間帯で診察を希望される場合、お電話等にてお問い合わせください。
※リハビリテーション科は当面は院内患者様に限らせて頂きます。※担当医は変更となる場合があります。

国保中央病院

奈良県磯城郡田原本町大字宮古404-1 ☎ 0744-32-8800 (代) fax 0744-32-8811 (代)
■ホームページアドレス <https://www.kokuho-hp.or.jp/> ■メールアドレス info@kokuho-hp.or.jp

国保中央病院ホームページ



2020年6月号 vol.45



国保中央病院 広報誌
KOKUHO CHUO HOSPITAL

さわやか



目次

小児アレルギーセンター開設のご案内	1
訪問看護ステーションの開設について	2
水曜日の皮膚科診察の開始について	2
アレルギー教室、糖尿病教室の開催中止について	2
最新式の80列マルチスライスCTの導入について	3
整形外科の紹介	3
令和2年度 予算及び事業の概況	4
外来診療案内	4

基本理念

医療の質を高めることにより、地域住民の皆さまの健康保持と増進に寄与し、住民の皆さまに信頼され、愛される心温かな病院を目指します。

小児アレルギーセンター開設のご案内

院長 阪井利幸

当院では、現在増えております小児アレルギー疾患に対応するために令和2年4月より小児アレルギーセンターを設置することになりました。

これまで当院では日本アレルギー学会のアレルギー専門医である中農小児科部長を中心にして各小児科医が各種アレルギー疾患の診療をしておりました。

現在、乳児期よりスキンケアの重要性が指摘されており、最近、社会的問題にもなっている食物アレルギーの患者は増加の一途をたどっています。そのために保育所、幼稚園、小・中学校の給食ではその対応を迫られており、各施設からの講演、勉強会の依頼が殺到しております。

そこで当院では小児アレルギー専門医を中心に、看護師を主として小児アレルギーエドキューター(PAE)の資格を取得し、栄養士、薬剤師などとチームをつくり、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、喘息などのアレルギー疾患を包括的に取り扱い、診療、教育、相談などを行います。

また、食物負荷テストを日帰り入院で実施しています。

小児アレルギーセンターの受診を希望される方は、電話にてお問い合わせください。

小児アレルギーセンター長 / 小児科部長

中農昌子

アレルギー疾患は国民の2人に1人が罹患しているとされ、年々増加してきています。同時に複数のアレルギー疾患を患うことも多く総合的な治療が必要で、その診療に関しても、検査法の進歩、新しい治療法の開発により、診療内容は年々大きく変わってきています。

適切な診断による標準的な治療を重要視するとともに、それぞれの患者さんに寄り添って治療していきたいと考えます。

1)食物アレルギー

問診、血液検査、皮膚検査、食物経口負荷試験(OFC)を行うことで正確に診断し、不必要な除去をしなくてすむようにします。また誤食(間違えて食べてしまうこと)によりアレルギー症状を起こさないように指導します。食べられることを目指すことのできる食品(卵、牛乳、小麦など)に関しては、OFCを行いながら徐々に食べられる量を増やしていきます。

2)気管支喘息

気管支喘息は数ヶ月以上長期間にわたりきちんと治療していくことが必要な病気です。環境整備を説明し、ガイドラインに基づいて症状の重症度に合わせた薬物療法などを行います。自覚症状だけでなく呼吸機能検査も併用することで客観的に病状を評価して、良いコントロール状態を目指します。

3)アトピー性皮膚炎

既に発症しているアトピー性皮膚炎に対しては、スキンケア指導と薬物療法を行い日常生活に支障のない痒みのない皮膚を目指します。また現在、皮膚を良い状態を保つことが食物アレルギーなど他のアレルギー疾患の発症予防につながることが分かっており、生後すぐからのス

キンケアの重要性も多くの患者さんに伝えるようにしています。

4)アレルギー性鼻炎

鼻水、鼻づまりが軽くなり日常生活に困ることが少なくなるよう、生活指導や薬物療法を行います。5歳以上の患者さんでは、症状を軽くする「対症療法」ではなく「根本的な治療」を目指す舌下免疫療法も導入しています。

5)“繰り返す蕁麻疹”や、果物や野菜を食べると口の中がイガイガするといった“口腔アレルギー症候群”、“花粉・食物アレルギー症候群”、ある食べ物を食べた後に運動すると症状が出てしまう“食物依存性運動誘発アナフィラキシー”なども治療、生活指導を行います。

当科は日本アレルギー学会認定アレルギー専門医準教育研修施設となっており、アレルギー診療に携わる専門医、看護師、薬剤師、栄養士の指導、育成を行っております。

また奈良県アレルギー疾患診療科別支援病院に指定されており、奈良県の小児アレルギー診療の拠点となっております。

アレルギー外来診療日 水曜日・木曜日 13:00～15:30

小児アレルギーセンター受付 (代表)0744-32-8800

お問合せ先

国保中央病院地域支援センター
受付時間(月～金) 8:30～17:00

再診予約・予約変更
(お電話による対応時間)

小児科外来
受付時間(火～金) 14:00～16:00

国保中央病院は 川西町 三宅町 田原本町 広陵町 の4町によって設立された自治体病院です。

訪問看護ステーションの開設について

令和2年4月1日より、国保中央病院に訪問看護ステーションを開設いたしました。

「訪問看護って何してもらえるの」、「どうしたら訪問看護を利用できるの」、「こんな状態で退院できるの」など、在宅での療養生活に不安のある方は、地域支援センター窓口にお気軽にご相談ください。(国保中央病院訪問看護ステーションは国保中央病院1階にあります。)

地域のサービス関連機関や地域支援センターと連携をとり、ご自宅での生活体制を整えるお手伝いをさせていただき、「家に帰ってよかった」、「安心して生活できる」、「訪問看護に来てもらえてよかった」と思っていただけよう支援させていただきます。

国保中央病院訪問看護ステーションの運営方針

- ステーションの看護師等は、利用者の特性を踏まえて、生活の質を確保し、全体的な日常生活動作の維持、回復を図るとともに、在宅療養生活が維持できるよう支援するものとする。
- 事業の実施にあたっては、関係市町村、地域の保健、医療及び福祉サービス機関と連携を図り、その協力と理解のもとに総合的なサービス提供に努めるものとする。



また、「自宅で自分らしく生きることを共に考え支援します。」「安心して療養生活ができるよう信頼関係を築き、質の高い心温かな看護の提供を目指します。」

最新式の80列マルチスライスCTの導入について

この度当院では既設CTの老朽化に伴い、最新式の80列マルチスライスCTに更新いたしました。

- 従来機種の5倍となる80列のマルチスライスCTです。より短時間で検査でき、呼吸止め時間も短くなります。
- 0.5mmで高精細にデータ収集を行います。骨や血管などの3次元画像を、より緻密に作成できます。
- 装置本体やX線出力、ソフトウェア等のさまざまな部分で被ばく低減の工夫がされている、従来装置よりも大幅にX線被ばくを低減できます。



整形外科の紹介

副院長 佐本 憲宏

整形外科では退行性変性(加齢)による関節障害や筋腱の障害と変形に対しての治療を行います。これらの障害や変形に対しては、まずは一般的に保存治療(手術なしでの加療)を行っていきます。また日本人には多いとされている骨粗鬆症の診断には骨密度計測用レントゲン装置を用います。

これらの結果に基づいて基本的には保存治療から開始して、必要であれば手術治療を行うこともあります。手術の内容によっては専門医を招聘するか、専門医のいる大学病院などにご紹介させていただくこともあります。

整形外科が担う大きな仕事は転倒や交通事故、スポーツ障害などの外傷です。高齢者の転倒になどによって起こる大腿骨近位部骨折や脊椎圧迫骨折、手関節骨折や上腕骨近位部骨折などが代表的な骨折です。これらは早期離床と日常生活動作の獲得のために手術加療を行うことが多くなります。一方、若年者ではスポーツ障害の診療が多く、特に足や膝、手の外傷などが多くなります。スポーツ障害の他、労働災害や交通外傷などでも疼痛や障害が生じて、整形外科を受診することが多くなります。これらにも対応しております。

また当院の整形外科では、吉良医師と非常勤勤務の片山医師が関節リウマチおよび手や肘を含めた上肢の障害などにも対処しております。変形性手関節症、手のしびれを主症状とする手根管症候群、手指関節変形や靱帯損傷の治療や外傷に対する治療も多く行っております。

私、佐本と森田医師は下肢障害を担当しており、特に足関節捻挫や足部骨折だけでなく、外反母趾、変形性足関節症や扁平足(後脛骨筋腱機能不全:PTTD)の治療を足底挿板などを用いた治療から手術治療まで行っております。これらの関節手術を昨今では、関節鏡を用いて行うこともあります。侵襲が小さく、術後の疼痛も軽減されます。

そして金曜日に非常勤医師として外来を行っている米田梓医師は奈良医大整形外科の小児整形外科担当医師で、乳幼児の发育性股関節脱臼や先天性内反足、小児の四肢変形や歩容異常など担当しております。金曜日の午後には重点的に行っていく予定です。

水曜日の皮膚科 診察の開始について

皮膚科の診察日については、火曜日と木曜日のみでしたが、令和2年4月1日より水曜日も診察日とすることとなりましたのでお知らせいたします。

令和2年3月31日まで
皮膚科の診察日:火曜日・木曜日

令和2年4月1日から
皮膚科の診察日:火曜日・水曜日・木曜日

アレルギー教室、 糖尿病教室の 開催中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当面の間、アレルギー教室・糖尿病教室の開催を中止いたします。イベント再開の際は、川西町、三宅町、田原本町、広陵町の広報誌、当院のホームページでご案内いたします。

